

50年のあゆみ

 福井県勤労者山岳連盟

50周年に寄せて

私たち福井県勤労者山岳連盟は、1968年(昭和43年)5月8日に設立され、今年で創立50周年を迎えます。これも偏に先輩諸兄の並々ならぬご努力、ご尽力の賜物と厚く感謝申し上げます。

今では、日本百名山と呼ばれる山はもちろんのこと、地方を代表する山も、小さな村落にある里山までも、登山道は綺麗に整備され、ゴミ一つ落ちていません。駐車場や水洗トイレまで完備されている山がほとんどです。私たちも一家に2台マイカーを所持し、装備もウェアも量販店で安価に買い揃えることができ、メールやLineで知人と誘い合い、手軽に山へ行ける時代になりました。

しかし、50年前は、登頂記録を作るため命懸けで登ろうとする者、社会生活から逃避するために入山する者、山を神聖化して社会と隔絶させておこうとする者、山の大量化に反対する者など登山に対し誤った考え方が多々ありました。これが遭難と結び付いていることもありました。1959年、伊藤正一と松本義明は、働く者が「安全に、安く、楽しい」山登りができる山岳会の必要性を痛感し、民主的スポーツサークルとしての登山運動が提唱し、広く各界に呼び掛けました。こうした中、1960年5月12日東京千代田公会堂で勤労者山岳連盟が結成され、同時に「これこそが、俺たちが待っていた山岳会だ。」と各地に働く登山愛好家が中心となって労山が創設されるようになりました。

当時は、民主的に運営されているスポーツサークルは少なく、全国的に同一趣旨の基に結成されたスポーツサークルは、労山のみでありました。これにより、各地に労山結成のための準備会が持たれ、今の登山界に対して疑問を持ち、登山の大量化に努力していた全国の登山愛好家からも、労山に大きな期待が寄せられ、労山に対して強力な指導援助を求める声が日に日に大きくなり、全国を統一して指導できる機関の必要性が求められるようになっていきました。

福井県では、1967年(昭和42年)、敦賀と武生に労山ができ、福井でも体育スポーツの民主的発展を願う新体連等の登山愛好者の中で、8月に第1回福井地区登山祭典が行われ、25名の参加者を得て浄法寺山に登りました。9月には、石川県、富山県との民主的スポーツの発展、連帯とこれを機会に労山を作るために合同登山を行うことが話し合われ、青年スポーツ祭典という全国的な行事を迎える中で、北陸三県登山祭典が行われ150名の参加者を集め白山に登りました。大量に呼び掛けを行う中で、福井県にも多くの登山愛好家がいることを知り、労山を作るうえで一つの確信を持つことができました。1968年(昭和43年)、3月末、瓜生康二氏、今井武氏、林義信氏、林博太郎氏の4名により本格的に福井労山準備会が作られ5回の会議を持ち、5月8日、福井県民会館3階で福井労山結成大会を開催し、山岳会結成の承認、規約、活動方針、連盟費、役員等について協議し承認され福井勤労者山岳会が誕生しました。また、5月12日に結成記念登山を日本百名山 荒島岳で行うことに決定しました。

この50年間、私たちの連盟では、事故や遭難は一件もなく安全登山に徹してまいりました。これも偏に、日本勤労者山岳連盟から定期的に講師を招聘し、入門講座、中級向け講座、雪山入門講座などを開催し、会員や一般の方々に啓蒙してきた結果であると自負するところであります。

これからも、安全登山を常に心掛け、当連盟の活動趣旨に賛同していただける方々を会員として取り込み組織を大きくし、次の50年に向け更なる飛躍を目指し発展して行くことを会員一同心から願うものであります。

2018年(平成30年)5月19日

福井県勤労者山岳連盟
会長 前田博美

【年表】

1968年(昭和43年)	5月8日 設立総会開催。福井勤労者山岳会 誕生 5月12日 結成記念登山 日本百名山 荒島岳 機関紙第1号 山なかま 発行、第2号から山の子 となる。
1969年(昭和44年)	北陸3県登山祭典主管 於:荒島岳 参加者50名 白山大衆登山 開催
1970年(昭和45年)	4月5日、福井県勤労者山岳連盟結成大会 開催、福井労山と敦賀労山が連絡を密にし、労山運動を推進する。5月17日 結成第1回登山 取立山。福井労山2班体制 会員の集まる店 喫茶&スナック コメント(電電公社西隣) 事務所代わりに使用、特定の人が常駐、伝言ノートを設置。
1971年(昭和46年)	運営委員会で班編成決定 あし、ケルン、和楽路の3班体制
1972年(昭和47年)	第1回福井労山祭典 開催 於:法恩寺山
1973年(昭和48年)	福井労山事務所設置(大手2丁目22-14 労音の隣り) REC(労山エキスパートクラブ)班を加えて福井労山4班体制 婦青会館で忘年会、労音の協力でダンスパーティー開催
1974年(昭和49年)	自然保護部こぶし班 設置 大衆登山 取立山 230名参加 沢登り、岩登りが活発化し山岳会として技術が向上する。 会員数100名 第1次黄金期
1975年(昭和50年)	北信越ブロック経験学習交流集会開催 於:東別院
1976年(昭和51年)	山行企画遭難対策技術指導部、婦人部 設置 RECが発展的解消 3班体制に戻る
1977年(昭和52年)	2月19日 福井県連結成式(福井、敦賀、武生の各労山)

1978年(昭和53年)	福井労山全会員数120人、あし班ウララとワチラの2グループ制を取る。(内あしの2グループで46名)
1979年(昭和54年)	あし班から山っ子班が独立し4班体制になる。冬山、岩登りも活発化しオールラウンドな山岳会となる。第2次黄金期
1980年(昭和55年)	清掃登山 実施 於:取立山 会員107名参加(ケルン19名和楽路35名、あし29名、山っ子29名)
1981年(昭和56年)	第13回福井労山大衆登山 奥穂高岳 小松労山との交流会
1982年(昭和57年)	冬期の奥穂高岳、八ヶ岳など新しい経験を積み重ねる。
1983年(昭和58年)	運営体制の改革に初めて取り組み、会長中心の運営体制から事務局長中心の運営体制に移行を計る。
1984年(昭和59年)	敦賀労山、美方労山が活動停止 県連の解散
1985年(昭和60年)	ケルン班解散、新規に ARC 班(オールラウンドクラブ) 発足
1986年(昭和61年)	冬山登山訓練 於:西穂高岳
1987年(昭和62年)	6月 福井労山20周年記念登山(1日20山登山実施) 7月 劔岳、立山大衆登山(会員30人、一般50人参加) 9月 白山集中登山(20周年記念)
1988年(昭和63年)	6月 家族・友人との清掃ハイキング開催 於:富士写ヶ岳
1989年(平成元年)	8月 大衆登山 鹿島槍ヶ岳～爺ヶ岳 参加者85名
1990年(平成2年)	5月 ファミリー登山 武衛山 参加者4家族16名
1991年(平成3年)	2月 第1回雪まつり 開催 於:越前甲 参加者9名 冬山登山訓練から遊びの要素を取り入れソフトなイメージを出した。
1992年(平成4年)	中池見湿地観察、保全運動に乗り出す。 第23回御嶽山大衆登山 風呂や個室の希望、連絡は女性の声で電話をするように要望され、班長の逆指名をするなど、お客様感覚の参加者が増え、会の拡大強化に繋がらないとの判断から、この年で大衆登山終了
1993年(平成5年)	5月 福井労山アマチュア無線クラブ開局 サイン:JH9YIV
1994年(平成6年)	2月8日 福井勤労者山岳から福井岳人倶楽部に名称変更
1995年(平成7年)	沢登りガイドブック 越の谷 発行。後に、山岳雑誌「岳人」の全国会報コンテストで銀賞受賞
1996年(平成8年)	11月 救急法講習会 開催 於:社会福祉センター
1997年(平成9年)	7月 組織改革案としてケルン班とあし班が合併して新しい班を作る案が出される。
1998年(平成10年)	2月 第1回北陸地方雪崩講習会 於:瀬名高原スキー場 福井から4名参加

1999年(平成11年)	あし班を3分割にする。アルパイン10名、GMC21名、ハイキンググループ28名 計61名
2000年(平成12年)	3月25日 冊子「福井の雪山」発刊 4月 機関紙 山の子 NO.99を最後に絶版となる。 新たな規約の下で各班を独立させた上で再連盟化。ケルン山の会、和楽路山の会、あしハイキングクラブ、山っこの会、ベルグラ山の会(4月13日発足)の5会が結成される。
2001年(平成13年)	ベルグラ山の会が新聞広告で会員募集
2002年(平成14年)	7月 わさびクラブがケルン山の会から分離独立
2003年(平成15年)	福井の雪山Ⅱ編集委員会 設置
2004年(平成16年)	10月15日 冊子「福井の雪山Ⅱ」発刊
2005年(平成17年)	6月 安全登山技術講習会 開催 参加者57名 11月 日赤救急法講習会 開催 参加者13名
2006年(平成18年)	11月 テーピング講習会 開催 参加者 13名
2007年(平成19年)	3月15日 事務所移転(光陽4丁目 2-26 浴場会館2階)
2008年(平成20年)	7月 沢登り講習会初級編 開催 ハンノキ谷 参加者 4名
2009年(平成21年)	6月 無線講習会 開催 参加者13名
2010年(平成22年)	11月 北陸地区登山技術講習会主管 於:丸岡町立体育館
2011年(平成23年)	6月 初級!沢登り講習会 白倉谷～白倉岳 7名参加
2012年(平成24年)	会員数70名 会員の高齢化と若い会員の獲得が課題となる
2013年(平成25年)	9月 第5回北信越交流登山 主管 宝慶寺いこいの村 61名参加(長野県11名、新潟県連17名、富山県連6名、石川県連8名、福井県連19名)
2014年(平成26年)	5月 ハイキング入門講座開催 於:アオッサ 11月 雪山入門講座開催 於:ユウアイふくい
2015年(平成27年)	1月 和楽路山の会が解散 5月 ハイキング上達講座開催 於:アオッサ 11月安全登山技術講座開催 於:社会福祉センター
2016年(平成28年)	2月 わさびクラブとケルン山の会とが合併 6月 夏山入門講座開催 於:アオッサ 参加者49名
2017年(平成29年)	あしハイキングクラブの会員数が急増(+14名) 全国トップクラスの伸び率達成 あし会員数42名 5月 ハイキング入門講座開催 於:アオッサ 参加者52名
2018年(平成30年)	5月19日 創立50周年記念講演会、記念パーティー 5月20日 創立50周年記念登山 日本百名山 荒島岳